

Red Hat Ansible Automation Platform に移行する 6 つの理由

コミュニティ版 Ansible® は実験や概念実証のプロジェクトに最適なプラットフォームですが、アップストリームのコミュニティがサポートするソフトウェアが組織に対して最高レベルのセキュリティを提供しているのかどうか、どうすれば確認できるのでしょうか。パッチ適用やアップデートなど、オープンソースの脆弱性に対処する際のチームの応答時間を考慮したことはありませんか。この種の脆弱性についてはチームにどのように通知されるのでしょうか。お客様の組織のチームは、こうしたセキュリティ問題を評価し修正できるレベルの専門知識を備えていますか。このチェックリストでは、コミュニティ版 Ansible を使用する組織が認識すべき Red Hat® Ansible Automation Platform の 6 つのセキュリティ上のメリットと、Red Hat がどのようにセキュリティリスクに対処するのかについて詳しく説明します。

1 強化された品質保証とテストを行う

コミュニティ版の Ansible は常に変更されているため、バージョン管理の問題が発生し、定期的なテストと品質保証が課題となる可能性があります。Ansible Automation Platform は、次の機能によって組織を性能テストのバグから保護します。

- ▶ 厳密かつプロアクティブな夜間の品質保証および統合テスト
- ▶ 新たなセキュリティ脆弱性の悪用を防ぐために行う、製品の定期的な模擬攻撃テスト
- ▶ Ansible Playbook やコンテンツのスケールアウト実行のための automation controller と automation mesh の性能およびストレステスト

2 エンタープライズサポートを利用する

アップストリームのコミュニティ版の Ansible は概念実証には最適ですが、組織が必要とする専用の専門知識に直接アクセスすることはできません。Ansible Automation Platform を使用すると、エンタープライズ向けサポートによって次のものを得ることができます。

- ▶ Red Hat エキスパートが提供する強化されたトラブルシューティングと根本原因分析による、パッケージ化されたコンポーネントの 24 時間サポート
- ▶ Red Hat の Ansible エンジニアによるバグ修正と機能に対する現場での優先順位付け
- ▶ 受賞歴のある Red Hat カスタマーポータルに蓄積された豊富な知識へのセルフサービスアクセス
- ▶ コミュニティ版の Ansible に見られるローリングリリースモデルではなく、バンドルされたバージョンおよびアップグレードの延長ライフサイクル

3 製品リリースのブロッカーとしてセキュリティ格付けを優先する

コミュニティ版の Ansible を使用する場合、オープンソース実行環境でのセキュリティ監視の責任は顧客の組織にあり、これには労力がかかります。Ansible Automation Platform サブスクリプションでは、次のような処理が行われます。

- ▶ 実行環境のセキュリティ格付けが「A」以外になった場合、それを格付け「A」に戻すまでのサービスレベル契約 (SLA) は 5 営業日です。
- ▶ コンテナイメージの健全性は Container Health Index によって継続的に監視されます。

4 バグ修正に対する Red Hat の品質保証

バグ修正はコミュニティの本番環境にデプロイする準備ができていない場合があり、専用のサポートなくバグ修正を特定しようとすると、遅れが生じることがあります。Ansible Automation Platform を使用すれば、当社のエンジニアリングがバグ修正のための品質保証テストを完了します。これは次のことを意味します。

- ▶ お客様は access.redhat.com を介して Red Hat が特定したバグ修正にアクセスできます。
- ▶ お客様は Red Hat カスタマーポータルを介してケースをオープンするか、緊急性の高いバグ修正については電話で地域のサポートセンターにすぐに連絡することができます。

5 セキュリティ重視の開発ライフサイクル・プラクティスを使用する

コミュニティベースのリポジトリは、サプライチェーン攻撃の第一の標的。セキュリティ重視の開発ライフサイクル・プラクティスを使用する Ansible Automation Platform は次のことに役立ちます。

- ▶ リリースされたソフトウェアの脆弱性の数を減らす
- ▶ 未検出または未対処の脆弱性による潜在的な影響を軽減する
- ▶ 脆弱性の根本原因に対処し、その後の再発を防止する
- ▶ Red Hat および Red Hat のテクノロジーパートナーのエコシステムが完全にサポートする Red Hat Ansible Certified Content を使用することで確信を得る

6 Event-Driven Ansible で効率を最大化する

自動化によって組織は時間とコストを節約できます。Event-Driven Ansible を使用すると、次のような方法で日常的な作業が排除されるため、エンジニアや特定分野の専門家の満足度が向上する可能性があります。

- ▶ 直接的な成功を収めて、効率的に、費用対効果の高い方法で、タイムリーにケースを解決する機能を備える
- ▶ ファクト収集、ネットワーク管理、エッジデバイス管理を自動化する
- ▶ ドリフト、性能の低下、停止の問題を修正する

Ansible Automation Platform の無料トライアルを試す

無料トライアルにサインアップして Ansible Automation Platform を使ってみましょう。または [Red Hat](#) にお問い合わせの上、詳細をご確認ください。



Red Hat について

Red Hat は、受賞歴のあるサポート、トレーニング、コンサルティングサービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

アジア太平洋

+65 6490 4200
apac@redhat.com

オーストラリア

1800 733 428

インド

+91 22 3987 8888

インドネシア

001 803 440 224

日本

03 4590 7472

韓国

080 708 0880

マレーシア

1800 812 678

ニュージーランド

0800 450 503

シンガポール

800 448 1430

中国

800 810 2100

香港

800 901 222

台湾

0800 666 052

[fb.com/RedHatJapan](#)
[twitter.com/RedHatJapan](#)
[linkedin.com/company/red-hat](#)